

南昌だより



デイサービスつむぎ 本誌 P6



こすかた保育園 本誌 P6



南昌病院 本誌 P8



博愛荘 本誌 P7



悠和荘 本誌 P11



ケアセンター南昌視察研修 本誌 P5



ケアセンター南昌 本誌 P4



志和荘 本誌 P10



若園荘 本誌 P9

医療法人社団 帰厚堂

【基本理念】

「愛と誠の精神」

私たちは、
すべての人に感謝の気持ちをもって
奉仕いたします
また、
信頼される医療を提供するために
全ての専門職種による
チーム医療に万全を期します

社会福祉法人 敬愛会

【基本理念】

「地域と共に生き 地域とともに歩む」
私たちは、
すべての人に感謝の気持ちをもって
奉仕いたします
また、
信頼される福祉サービスを提供するために
全ての専門職種による
チームケアに万全を期し
その人らしい生活が育まれるよう
支援します

2015
No.19
Contents

- 2P… 巻頭言
- 3P… 職場紹介/スタッフ紹介
- 4P… ケアセンター南昌
- 5P… ケアセンター南昌視察研修
… 敬寿荘
- 6P… こすかた保育園
… デイサービスつむぎ

- 7P… 博愛荘
… ショートステイやはば
… 矢巾町地域包括支援センター
- 8P… 南昌病院出前講座
… 訪問リハビリテーションこすかた
- 9P… 若園荘
- 10P… 志和荘

- 11P… 悠和荘
- 12P… 恒和荘
- 13P… 敬愛荘
… 敬愛会デイサービスセンター
- 14P… 医療機能評価認定 その2
- 15P… Topics/介護の豆知識
- 16P… お知らせ



●●● 18秒の世界 ●●●



南昌病院 副院長 齊木 巖

◆ 世の中は、いろいろなものが非常に早く進んでいる。新幹線は、300km/h、リアモーターカーは500km/hで走るとのこと。しかし、もっと早いのは「鶏が三步あるくと……」とかと云われるが、こちらはもっと早く一歩で「あれえ!なんだったっけ?」と云うことで黄泉の世界へ真っしぐらである。

◆ 話は変わるが、聖徳太子が10人から同時に話を聞き、把握し指示を云うことができたとのことであるが、日本人は五プラスマイナス三で、多い人は八、少ない人は二となる。医師が注意して聞かなければならないのは、患者から病状を聞く問診である。内科の医師は、35前後の疾患を念頭において問診となり、外科系は、範囲が狭く八~十などと云われる。この医療面接・問診は、三つの機能があり、①医師と患者の信頼関係の構築、②健康問題の評価、③健康のマネジメントとされている。熟練の医師は、身体所見や臨床検査よりも面接の情報を重視し、診断全体の3/4は病歴に基づいて行なわれているとされる。

◆ 内科医と患者との面談を解析した結果、面接

が始まってから18秒以内に医師が患者の発言を中断している例が、全体の69%に及ぶ。こうした中断により患者の健康問題の正しい理解が妨げられ、情報収集も不完全に終わっていて、77%の面接で患者の受診理由が十分に聞きだされていないとされる。また、患者さんの訴えを黙って聞いていても殆んどが1分間で終わる。他に②、③の機能もあるのだから18秒の3倍は持ちたいと思っている。

◆ HDS-Rの点数の低い人は、顔もみつまめ合い、そしてニコリすれば、患者さんもニコリと笑顔になる。これで人間関係が成立する人も多くなって来たように思われる。

◆ 18秒を長い時間とするか、短い時間と思うか、それが問題だ。

※HDS-Rとは、長谷川式簡易知能スケールと言い、主に記憶力を中心とした認知機能障害の有無を大まかに知ることを目的とした検査方法です。実際の医療現場で広く使われています。

一人ひとりに合った支援 リハビリテーション

専門スタッフがチームを組んで集中的にリハビリを実施

365日リハビリテーション提供!!

(回復期リハビリテーション病棟・地域包括ケア病室)

- 南昌病院 ● こすかた診療所
- 敬愛荘 ● 博愛荘
- 訪問リハビリテーションこすかた …

リハスタッフ総勢98名

(理学療法士、作業療法士、言語聴覚士)

(ほかに臨床心理士2名)



職場紹介

お蔭様で元気に2年目を迎えています =若園荘=

平成25年3月21日開設、2ユニット型のホームで女性16名、男性2名、計18名(2階9名、3階9名)の入居者が共同生活を行っています。2階ユニットの平均年齢88.3歳、平均介護度1.7、3階ユニットの平均年齢86.7歳、平均介護度1.8です。

若園荘では入居者お一人おひとりの生活リズムを大切に、自宅と変わらない家庭的でゆったりした雰囲気の中、生活していただけるよう全室が個室になっており、これまで使っていた家具などの持ち込みも可能です。食事は皆様と職員が楽しく調理を行い、一緒に美味しくいただきます。そして、できるだけ家庭に居るときと同じように、洗濯、買い物、掃除など職員と共に行います。一日の流れは大まかにありますが、その時々の方々の状況に合わせ、無理のないようにしています。季節のイベントでは行事の他、ボランティアを迎えて

の様々な演奏会、折り紙教室、お茶会、生花、ダンスなど入居者の得意な分野で輝ける時間を大切にしています。

職員17名の中に看護師を配置し、体温や血圧測定などの全身状態のチェックを毎日実施するなど健康管理をしっかりと行いながら、認知症という目に見えず分かって貰いにくい内的世界にも目を向け耳を傾け共感することで皆様が安心して生活できています。また訪問看護とも契約しており、夜間など緊急時の対応も主治医と連携を取り主治医の指示に沿って対応します。毎日が健康で楽しく暮らせ多くの笑顔が見られるように、今の状態が長く続くようにと願い関わっています。

住み慣れた地域の中で安心して暮らせるように、地域の活動に参加したりホームのイベントにお誘いしたり、地域交流も少しずつ広がり小学校との交流も実現できました。

「愛と誠の精神」で、家族とのつながり、地域とのつながりを大切にやさしさと思いやりの心で、チーム一丸となり地域に根差すホームを目指し、皆様と歩んで参りたいと思います。どうぞ宜しくお願い致します。



スタッフ紹介

～元気の源は皆様の笑顔です～

はじめまして。ケアセンター南昌の1階にあります、訪問看護ステーションやはばに勤務しております看護師の鈴木由美子と申します。まだまだ未熟者で皆様に支えて頂きながら日々勉強させて頂き1年と少しがたちました。ステーションスタッフの方も、個性あふれる方々でとても賑やかな職場です。

なぜ私が訪問看護師という道を選んだかという退院された

患者さんが自宅に帰りどのように生活をされているのか?又患者さん1人1人ともっと向き合いケアしていきたいと思った事がきっかけでした。実際訪問看護師としてお宅におじゃまして頂き、一番驚いたのが笑顔でした。自分の家に帰ってきて過ごす事が出来る事ってこんなにも笑顔になるんだな。という事を実感しながら私も力を頂き毎日を過ごさせて頂いております。

今後、高齢化が進み、在宅で過ごされる方が増えてくる傾向にあり、私たち訪問看護の利用者も増えてくると思います。在宅で安心して笑顔で過ごしていけるお手伝い出来るよう今後も日々勉強させて頂きたいです。



各施設から

ケアセンター南昌

施設紹介

診療所、介護老人保健施設、保育園などの14事業、23のサービス機能を持ち、医療・介護・保育・生活支援など、切れ目のないサービスをワンストップで提供できる多機能型施設です。

センターイベント

日	イベント
9月18日	職員研修会『障害者雇用と課題』
①10月15日	第25回全国介護老人保健施設大会
②10月18日	日本慢性期医療協会 「平成26年度施設見学会」①
②10月23日	日本慢性期医療協会 「平成26年度施設見学会」②
③11月 1日	第12回 南昌福祉の里文化祭
④11月10日	ふれあいコンサート2014
⑤12月 5日	ケアセンター南昌特別講演会
⑥12月17日	博愛荘クリスマス会

①岩手県で開催されることとなった、全国老人保健施設大会!! ケアセンター南昌からは、全7題の演題発表を行いました。

②全国各地から参加者を募り行われた、ケアセンター南昌施設見学会!! ※詳細は本誌5ページへ→

③センター来館者数396人! 沢山のご来場ありがとうございました。

バザー・屋台の売上げから「東日本震災援護地区ボランティア支援金」として49,780円の寄付をさせていただきますこととしております。



④フルート奏者:吉川久子様による「ふれあいコンサート2014」がケアセンター南昌で行われました。利用者、保育園児、職員がフルートの音色に耳を澄ませ、ゆったりとした素敵な時間を過ごしました。



素敵なサイン色紙を頂きました!!



フルート 吉川久子

フルートのソリストとして、国内外の多くのステージで活躍し、高い評価を受けている。妊婦にリラックスタイムを演出する「マタニティーコンサート」を開催、その草分けの音楽家として活躍。

⑥クリスマス会のゲストに 朱美ちゃん

細貝さん登場!?



⑤ケアセンター南昌では、より良いケアの提供を目指し、職員全員のスキルアップのため、各種の研修会を行っております。今回、ケアセンター南昌特別講演会「高齢者の貧血」をテーマに秋田大学澤田賢一学長をお招きし講演していただきました。

114名の職員が積極的に参加しました!!



在宅生活と施設をつなぐ架け橋として 在宅復帰支援 行事イベントチームの取り組み



プランター野菜植え作業



野菜収穫

私たち「行事・イベントチーム」では、在宅復帰支援に向けた取り組みとして、施設内で家庭菜園を実施し、収穫した野菜で漬物づくりを行いました。

チームの発足が6月でしたので、育てる野菜が限られてしまったのですが、数週間後にはミニトマト、ナス、大葉、などの野菜を多く収穫できました。水やりや肥料の与え方などの育て方は、農業に携わっていらした利用者の方々が先生。素人がほとんどの職員に、いろいろアドバイスや指示をいただきながら、皆でわいわい楽しみながら野菜の成長を見守っていくことができました。

お天気のいい日に水やりに外に出るのは最高の気分!!作業をしながら、野菜づくりのコツなどのほかに、昔ばなしやご家族の話など話がどんどんふくらんでいくと自然と笑顔もこぼれ、よい気分転換の場となりました。また、私たち職員もこの活動を通して、その方が歩んでこられた人生を垣間見ることができたり、新たな一面を知ることができたりと、より深く知るいい機会にもなったようにも思います。

さて、収穫された野菜をシンプルな浅漬けにいただきました。そのお味は…概ね好評で、皆さん「おいしいよ!」と言って喜んで食べられていました。残念ながらあまり大きく育たなかったり、味がいまイチの野菜があったりと思い通りにいかなかったこともありましたが、そこは次回への課題としたいです。

この取り組みによって、利用者の方が少しでも自宅での生活を思い出し、在宅復帰へ向けての意欲や希望を見出すきっかけとなればと願っております。来年度も活動が楽しみです!

「日本慢性期医療協会」ケアセンター南昌視察研修を終えて

日本慢性期医療協会主催のケアセンター南昌視察研修が、平成26年10月18日(土)・23日(木)の両日、全国各地より21名の参加を得て開催されました。

日本慢性期医療協会は、急性期からの慢性期ICU患者の受け入れ、在宅療養の支援、回復期機能、認知症患者の治療やターミナルケアなどの機能を持つ病院が中心で構成され南昌病院も加入しています。先般の日本慢性期医療協会の会議の席上、武久協会長より当法人木村理事長にケアセンター南昌視察研修の依頼があり、全国の会員に募集をしたところ、鹿児島県、熊本県、愛媛県、愛知県、神奈川県など全国各地より医師、看護師、事務職員、PTなど多職種の関係者の参加を得、活発な質疑も多数あり熱気ある視察研修となりました。また、昼食は地元食材を100%使用した給食を食べていただき、岩手の味を堪能できたと好評を得ました。

見学者からは「①利便性に優れている。②幼老交流の場が良い。③多機能化による情報の共有・サービスの共有が強みになっている。④高齢化と少子化にワンストップで対応する施設で大変参考になりました。

⑤医療と福祉における地域の拠点だということを感じました。」など多数のご意見・ご感想をいただきました。

今回の視察研修は、医療・介護に係る職種の方々がそれぞれに問題意識を持った上で参加していただき、今後の地域医療・介護のあり方、進むべき方向にすくなく影響を与えたのではないかと感じました。ケアセンター南昌の施設見学者数は、平成25年度が474名、平成26年度は11月末現在521名となり、今後とも日々研鑽し地域に開かれた施設として取り組んでいきたいと思っております。



ケアセンター南昌 事務長補佐 滝村光一

敬寿荘

施設紹介

グループホーム：認知症の高齢者が共同で生活できる場(住居)で、食事、入浴などの介護や支援、機能訓練が受けられる施設です。矢巾町在住者が対象です。

ふれあいコンサート

フルート奏者の吉川久子さんは、2011年の東日本大震災の発生以降、被災地を訪れて「ふれあいコンサート」を開催してきております。平成24年、沿岸部被災地でのコンサート後、内陸地域の演奏として、グループホーム「敬寿荘」において演奏を披露していただいた経緯があり、これが縁で今回、ケアセンター南昌で演奏していただくこととなりました。赤とんぼや星めぐりの歌など感動的なフルート演奏を堪能することができ、とても楽しい一時でした。



あの感動をふたたび!



ハロウィンmonsterが来てくれた

こずかた保育園の子供達が仮装し「トリックオアトリート 飴をくれないといたずらするよ」かわいい子供達を見てニコニコ目じりがさがりっぱなしでした。



南昌ホールにてミニ運動会を開催

センターに移転し地域の方々との交流を深めたく矢巾一区の「ちょぼうの会」の皆さんに多数参加していただきました。全員がはち巻きをつけ準備体操し競技に入りました。パン食い競争・おたまりレーなど我が一番と思う競技は表情がイキイキしていました。また、伝言ゲームは集中力を高め頭の体操となりました。ちょぼうさんお疲れ様でした。



こずかた保育園

施設紹介

《こずかた保育園の特徴》

ケアセンター南昌の中で幼老交流をすすめ、入居者の皆様からは優しさを、子どもたちからは元気をプレゼント、そこには自然に笑顔が広がります。又、「英語で遊ぼう!」「運動遊び」「フラワーフレンド」等の活動も、子どもたちにとっては笑顔と元気の源です。

こずかた保育園は、生後2ヶ月からの乳幼児保育、24時間対応延長保育、体調不良児対応型保育、休日保育、一時預かり保育等を行い、働く保護者の応援をしております。

12月1日現在のこずかた保育園園児数は93名になりました。今回10月から12月の行事の一部をご紹介します。

☆ おにぎりパーティー 10/29 (金) ☆

屋上で育てたお米でおにぎりパーティーをしました。ごはんになる前のお米の香り、色、感触を実感。炊飯器に水を入れスイッチオン!炊き上がり、釜のふたを開けたときの子ども達の表情といたら……何とも言えない笑顔でした。そのあとはみんなでおにぎりを作り、美味しく頂きました。



☆ お楽しみ会 12/6 (土) ☆

こずかた合唱団の「Oh Happy Day」♪で幕を開けた第2回お楽しみ会。未満児の生活発表や以上児のお遊戯・劇など盛りだくさんのプログラムで、成長した姿、可愛い姿などを存分に披露しました。

閉会間際、賑やかな声を聞きつけたサンタクロースが登場!本物の優しいサンタクロースからのプレゼントに子ども達の目がキラキラしていたのは言うまでもありません。笑顔あり、嬉し涙ありの素敵なお楽しみ会でした。



☆ ゴエティが遊びに来たよ 12月12日 (金) ☆

IAT岩手朝日テレビの子ども子育て宣言!「21世紀図書」という番組の取材で、読み聞かせのお姉さんとゴエティが遊びに来てくれました。子ども達はテレビで見るより大きなゴエティを目の前にし、にっこりほっこりしながら楽しい時間を過ごしました。最後には、たくさんの絵本のプレゼントもありました。

放送予定日は平成27年1月25日(日)です。お見逃しなく!



今後の主な予定
(1月~3月)

- 1月8日(木)…みずき団子作り
- 2月3日(火)…豆まき

- 3月3日(火)…ひなまつり
- 3月12日(木)…お別れ会
- 3月21日(土)…卒園式

こずかた保育園お問い合わせ先/TEL.019-698-3008 FAX.019-611-0221

デイサービス つむぎ

施設紹介

通所介護施設:食事・入浴などの介護サービスや機能訓練が日帰りで受けられる施設です。

職員紹介

デイサービス勤務14年のベテランで、これまでも多くの利用者と“物作り”“レクリエーション”を通して交流し、信頼を得ている介護福祉士です。その暖かい人柄と、楽しい会話で、利用者から絶大な人気を得ています。つむぎの誕生会でプレゼントしている誕生カードは、全て彼女の手作りです。プロ顔負けの繊細且つ豪華な仕上がりに、誕生者の感激もひとしおのようです。

これらはペーパークイリングというクラフトの手法で作られているのですが、吉田介護福祉士はプライベートで数年間勉強し、つむぎでの仕事に生かしています。影響を受けたつむぎ職員数名の間でも、ペーパークイリングの輪が広がっています。毎月の手芸・工作・レクリエーションについても企画から中心となって進めており、つむぎにとってなくてはならない主力の人材です。



昨年4月からお世話になっております介護福祉士の吉田敦子です。利用者様が声を出して笑ったり、楽しんで物づくりをしていただけるよう、日々工夫し、取り組んでいます。



レクリエーション
～染物～

ばいせん液に浸した絹にあらかじめ輪ゴムで絞りの模様をつけておき、シソ・ナス・紅茶などの液で染め、色止めをしました。模様をつける場面では、視力が悪いかたも手の感触で輪ゴムを付けることができました。外す時は、それぞれどんな柄になっているのかワクワクしながら輪ゴムをほどき、「わー!」と感動の声が上がりました。出来上がった染物はケアセンター南昌文化祭に展示し、その後それぞれ自宅に持ち帰りとなっています。

介護老人保健施設：自宅で安心安全な生活がおくれるように、医療のもとリハビリを行いながら自宅復帰を目指す施設です。

紅葉バスハイク

10月下旬にラ・フランス温泉まで紅葉バスハイクに出掛けてきました。風が冷たく、肌寒く感じる日もありましたが、久々の外出で気分転換をすることができました。外で食べる和菓子は格別！散策しながら、楽しいひとときを過ごしました。



余暇時間の過ごし方

日を追うごとに寒くなり、散歩などに出られないので、食堂にて編み物や縫い物での作品作りを始めました。「昔は何でも作ったけど…」と戸惑いも見られましたが、一旦始めてしまうと針を持つ手は止まらない毎日です。アクリルたわしの作り方を教えてもらう職員の姿は微笑ましいものがありました。私たちが一緒に上達していけたらな、と思いながら日々作成しています。



文化祭

11月1日、南昌福祉の里文化祭が行われました。今年度の作品を主に展示し、ゆっくりと見学しました。博愛荘では、日々のレクの時間などに製作したものを展示しました。どの作品も、力作揃い。「これはきれいだね。」「立派だね。」などの感想がよせられていました。またステージイベントのこすかた保育園の可愛らしい出し物や、不來方高校吹奏楽部やトレモロギターの会の素晴らしい演奏に、感極まって涙する方もいました。皆さんの心に残る文化祭になったようです。



文化祭写真集 / 入所者様の作った作品の数々



トレモロギターの会

ショートステイやはば

施設紹介

短期入所生活介護(予防含)：短期間入所し食事、入浴、排泄などの介護、日常生活上の支援及び機能訓練が受けられる施設です。

ホットケーキ作り

ショートステイやはばでは、10月27日にホットケーキ作りを行いました。今回初めての試みでしたが、利用して頂いた利用者様から好評のお声も聞かれ、あま〜いホットケーキと皆さんの笑顔がとても印象的な1日でした。今後も、様々なイベントを企画していきたいと思っておりますので、たくさんのご利用お待ちしております。



利用者様から学ぶ昔の遊び

また、最近は昔の遊びを余暇時間で皆さんと行ったりしています。いろはカルタや、ことわざカルタ、あやとり、方言や昔の言葉、などみなさん昔を思い出し、お話が盛り上がりとても楽しいひと時を過ごしています。スタッフも利用者から、たくさんの事を学ぶ場にもなっております。



矢巾町地域包括支援センター

施設紹介

地域の高齢者本人や介護者家族の困りごと・心配ごとの相談窓口。社会福祉法人敬愛会が矢巾町より委託を受け運営している。

認知症ライフサポート研修 開催

12月3日、ケアセンター南昌において「認知症ライフサポート研修」を開催しました。この研修は国の打ち出した「認知症施策推進5か年計画(オレンジプラン)」において医療・介護サービスを担う人材育成研修として位置付けられています。

岩手医大の赤坂博さんをファシリテーターにお迎えし、町内外から民生委員を含め46名のご参加をいただきました。

参加者はグループワークを中心に、多職種協働の目的と意義について学び、「連携の重要性を再認識した」「違う視点でケアを考える事が出来た」などの感想をいただき、満足度の高い研修にすることが出来ました。



南昌病院

施設紹介

医療・保健・福祉の三位一体となった総合施設の中核をなす医療施設。リハビリに積極的に取り組みチーム医療のもと、早期在宅復帰を支援する施設です。一般診療も受け付けています。

看護科 出前講座のご案内

ご存知でしょうか？

南昌病院看護科では、平成22年度から地域の皆さんの健康づくりのお手伝いの一環として、経験豊かな看護師が中心になって、出前講座を実施しています。気になる講師料ですが「**無料**」となっています。メニューは、毎年見直しをしています。希望のメニューまたは、それ以外でも、**電話かFAX**で申し込んで頂くと張り切って出かけてまいります。

町民の皆さんが健康で豊かな生活が出来るように、健康や病気の疑問や不安に答えたいと、毎回、**看護師ならではの知識や技術など、資料を手作りし、町内の主に公民館に向いて、30分～1時間**



間程度お話をさせて頂いています。ご質問には「**分かりやすく答える**」ことを心がけています。また、看護科では**この機会を、地域の皆さんとの交流の場**とも考えて、南昌病院の特徴などもお話しさせていただいています。意外と、ご存知ない方もいらっしゃる残念に思うこともありますが、**南昌病院は、矢巾町の皆さんなどを大切に考えた病院**です。循環バスも玄関先まで来ますので、自家用車がなくても大丈夫です。日頃から、ちょっと気になっていること、聞いてみたいと思ったこと、詳しく知りたいと感じていることがあれば、**メニュー以外でも**ご相談に応じます。

看護科一同、皆さんからの申し込み大歓迎です。どうぞ、お気軽にお申し込み下さい。お待ちしております。



南昌病院看護科 **無料** 出前講座

No	テーマ	内容
1	食べることの大切さ	□から食べることがなぜ良いのか、□腔内環境を整えていくために必要なことを説明します。
2	お薬の知識	薬は正しい時間に正しい量を決められた期間、内服することが大切です。飲み忘れを防ぐ方法を教えます。
3	熱中症対策	予防するために何が重要!?熱中症の危険性、予防方法を説明します。
4	家でできる感染防止対策	正しい手洗い・うがいの方法、もし家族がインフルエンザに感染したらどうしますか?その方法を説明します。
5	禁煙について	家族のために禁煙生活!!!身体に及ぼす影響を教えます。
6	生活習慣病とは	生活習慣病とは!?基礎知識、予防方法を説明します。
7	骨粗しょう症予防	特に女性の方は高齢になると骨折のリスクが高まります。その背景にある骨粗しょう症の予防について説明します。



講座は全て **無料**です!!!
お電話お待ちしております

☆お問い合わせはこちら☆

TEL 019-697-5211
FAX 019-697-5215

(申し込み用紙でFAXをお願いします)

南昌病院 総看護師長 **村松 洋子**
担当者 **伊藤 美沙恵 大坪 修子**
高野 康子 千葉 祐子
佐藤 香里 鎌田 通恵

訪問リハビリテーションもすかた

施設紹介

訪問リハビリテーション：理学療法士、作業療法士が居宅を訪問し、利用される方やご家族と相談しながら、1人の状態に合わせたリハビリテーションを行います。

訪問リハビリが 住み慣れた在宅での生活を支援

- 1 身体機能評価（血圧測定など、状態観察含む）
- 2 身体機能練習（関節拘縮予防、筋力強化練習、起居動作、歩行練習など）
- 3 日常生活動作練習（食事、トイレ、更衣、整容、入浴動作など）
- 4 生活周辺動作練習（家事、玄関の出入り、趣味活動など）
- 5 住環境整備、福祉用具の選定（ケアマネ、福祉用具業者との連携など）
- 6 リハビリテーション相談（自主トレ指導など）



理学療法士4名、作業療法士3名 計7名が、利用される方やご家族の一助になるよう、一生懸命がんばりますので、今後ともよろしくお願い致します。

避難訓練

10/21（火）、盛岡中央消防署にご協力いただき、夜間想定で避難訓練を行いました。3階ユニットの台所から出火、非常階段から外へ避難誘導するという流れで、利用者も参加しました。実際に行ってみて、『自力歩行困難の利用者（車椅子使用者など）を階段から避難させるには、かなりの時間と労力を要すること、特に夜間の避難についてはさらに厳しいものと予想される』との課題があげられました。また消火器の操作についてや通報の仕方の確認・避難誘導について講評をいただきました。



- 若園荘は難燃性物品を使用している建物なので落ち着いて避難すること。
- 出火場所から離れた階段がある場合は、それを使用し避難すること。
- 夜勤者が応援者に対する指示は、大きい声で確実に伝達すること。
- 煙の対策として、最終避難者や避難確認者は開いている防火扉を閉めること。

いざという時にどのように行動するべきか、普段の訓練の積み重ねがいかに重要であるか改めて感じました。今後の避難訓練に生かしていきたいと思います。

折り紙教室

外部よりボランティアで北田律子様に講師として来ていただき、折り紙教室を定期的に行っています。季節にちなんだ「花」や、最近では「クリスマスツリー」を講師の指導のもと、利用者と職員と一緒に作りました。「難しいねえ」「鶴しか折った事ないよ」など、会話をしながら熱心に折っていました。完成した作品を見て、皆さん思わず笑顔。四角い紙一枚で色々な表現が出来るのが折り紙の面白いところです。これからも新たな季節感を味わいながら楽しんでいただければ幸いです。北田先生、いつも有り難うございます。



地域交流

前号で紹介致しました城南小学校4年生児童との交流会、第2回目が11月11日に行われました。前回来てくれた児童とはメンバーが変わり、人数も増えての来荘でした。体を動かしてレクをするグループは風船バレーや輪投げで点数を競い合い盛り上がりました。座ったままでレクをするグループは、折り紙で切り絵作りをしました。児童一人ひとりが利用者に寄り合い丁寧に教えていました。それぞれが楽しめるようにグループを二つに分け、工夫がされた心のこもったプログラムを考えてきてくれたようです。楽しそうな利用者の様子から、視察を兼ねた交流も含め少しずつなじんできたように感じました。お年寄り、認知症?に関心を持ち熱心な児童達で「学校が終わってから来てもいいですか?」と、まだまだ知りたい事があるようで放課後も遊びに来てくれています。



行事予定 ● 1月7日…お琴のつどい ● 2月…節分（豆まき） ● 3月…ひなまつり

志和荘

施設紹介

特別養護老人ホーム：常に介護が必要で自宅では介護ができない方が対象の施設です。

◆文化祭

11月1日(土) 南昌福祉の里文化祭が開催されました。今年は『春夏秋冬』をテーマに掲げ、入居者・職員一丸となり取り組みました。アトラクションは煙山保育園の園児の方々による歌や踊りでした。可愛い園児達の姿に「上手だね〜!」と感心し拍手を送る方や、涙ぐまれる方がいました。素晴らしい出し物のお礼に志和荘一同で「北国の春」の歌のプレゼントをしました。

作品展示コーナーでは、一人一作品を目指し作成した物を展示しました。不自由な身体でも懸命に作った心のこもった作品が勢揃いしました。どの方も「上手く出来たな〜!」と満足げに眺めていました。

その他、バザーやゲームコーナー、屋台、喫茶コーナー、産直コーナー…楽しいイベントが盛り沢山でした! 来年もぜひ、南昌福祉の里文化祭 志和荘会場に来て下さ〜い!



◆不動小学校 4年生慰問

11月26日(水) 不動小学校の生徒が来荘しました。子供たちの元気な歌声を聞き入居者の皆さんも一緒に口ずさむなどとても喜んでいました。また、生徒たちとの手遊びなどの触れ合いもあり、笑顔があふれていました。



◆新任研修

社会福祉法人敬愛会では、毎月法人研修を実施しています。今回は『新任職員研修』をご紹介します。新任職員研修は、入職1年未満の職員を対象に毎年実施しています。移乗・入浴・オムツ交換・食事介助の介護技術の研修を行いました。オムツ交換では交換の手順を再確認すると同時に、自分もオムツを着用し羞恥心や快適性に配慮した交換の必要性を改めて感じていました。食事介助では、ゼリーを実際に食べさせてみました。高い位置からの介助では、介助される方が上を向き誤嚥しやすくなります。介助は同じ目線で声を掛けながら落ち着いて行なう事が大切です。入居者の皆様に安心して生活して頂けるよう、知識・技術の向上に努めていきたいと思っております。



お知らせコーナー

●寄贈●

- 実相寺様 バスタオル
- 佐藤正子様 おむつ
- 藤澤三朗様 山ぶどう

ボランティアさんありがとう

- 田村千佳子様 (生け花サークル講師)
- 長内祐子様 (文化祭バザーお手伝い)
- 盛岡社会福祉専門学校 (文化祭のお手伝い)
- 岩手女子高等学校 (文化祭のお手伝い)
- 南昌行政区の皆さん (文化祭のお手伝い)

文化祭バザー売り上げは **25,110円** となりました。
売上金は、志和荘家族会の運営費とさせていただきます。
品物の提供、ご購入ありがとうございました。

◆悠和荘文化祭◆ 11月

恒例となりました南昌福祉の里文化祭！今年も賑やかでした。

なんとと言っても今年の1番は「蒼前太鼓保存会」の皆さんによる和太鼓の演奏です。

ガラスが割れそうなほどの太鼓の音が響きわたりました。身体の隅々まで音を感じるとも勇壮な演奏で、終盤の息を呑むような迫力に入所者からは「がんばれ！」の声がかかるほど観客と演奏者が一体となったすばらしい和太鼓でした。ご家族の皆さんからも感激の声が聞かれました。

昼食はそれぞれに好きなメニューを食堂でいただきました。メニューの中には早々に品切れになるものもあり、ご迷惑をおかけしました。来年はもっと沢山用意しますのでよろしくをお願いします。

午後には不動保育園の子ども達と荘内を使って宝探しゲームを楽しみました。子ども達の素早さについていけず宝はほとんど子ども達の手の中に。帰り際取り残された宝を発見！思わぬ宝に再び興奮的一幕がありました。



前号で紹介した謎の物体はビックリボールを晒で包み輪ゴムでとめたものでした。これで草木染めをしました。



左から……ブルーベリー・紅茶
玉ねぎ・朝顔・マリーゴールド



ここ数年、悠和荘の行事に足を運んでくれるご家族が多いと感じます。職員一同、心から感謝します。ありがとうございます。

今後ともよろしくお願いたします。

◆避難訓練◆ 12月

夜間想定避難訓練を行いました。夜中強い地震が起き荘内が停電。電気復旧後間もなく電気設備より出火という想定です。強い地震のため荘内廊下

にはいろいろな物が散乱し、他からの応援もなかなか来ない。消防への連絡と入所者の避難を夜勤者と宿直者で行う内容です。最近地震災害が長野で起きたばかりです。かなり緊迫した雰囲気の中、必死の訓練でした。今回利用者の皆さんは風邪に配慮しお休み、当日出勤職員と宿直者全員での訓練でした。悠和荘の避難訓練は年間3回、連絡網のみの訓練は1回行っています。その都度いろいろな場面を想定し行います。何度やっても緊張します。そしてやり過ぎという事はありません。常に真剣に取り組む、万が一に備えたいと思います。



◆運動会◆ 10月

紅白に別れ玉入れ、菓子取り競争、輪投げ競争等盛り上がりました。お菓子めがけた競争ではまあ早い早い！お菓みに突進です。びっくりする早さで皆の笑いを誘っちゃいました。



◆お知らせ◆

今年のインフルエンザは早い時期から猛威をふるっているようですね。悠和荘では現在感染予防のため、面会を中止させていただいています。ご迷惑をおかけしますがご配慮よろしくお願いたします。

恒和荘

施設紹介

小規模多機能型居宅介護事業所：小規模な住宅型の施設で、通いのほか、訪問、短期間の宿泊などを組み合わせて食事、入浴などの介護や支援が受けられる施設です。盛岡市在住者が対象です。



今年の紅葉、綺麗でした！

秋晴れの10月24日（金）、紅葉見物に花巻広域公園に行きました。花巻温泉にほど近い自然がいっぱいの総合公園で、鮮やかな赤や黄色の紅葉を満喫できました。また、宮沢賢治にちなんだモニュメントも楽しみ憩いの場でした。利用者18名中9名が車椅子でしたが、みんなで支えあいながら広い園内を散策できました。「紅葉がいっぱい、手に取るように真近に見れて、こんな素敵な場所に連れてきてもらって嬉しいです。」が利用者の感想でした。ただ、園内のレストハウスが工事中であったこと、マルカンデパートのジャンボソフトクリームを食べ損ねたことが残念でしたが、昼食に金婚亭のてんぷら御膳を食べて、皆様、元気に帰って来れました。

地域の行事に参加

恒和荘近辺では多くの催し物が行なわれます。情報を得ると利用者の方から参加したい意向が聞かれます。城南地区文化祭（恒和荘も出品）、城南地区芸能祭り、中央公民館での山岸地区グリーンコーラス、市総合福祉センターでの「愛のうたごえ」被災地へエール市民交流など毎回5、6人の利用者が参加し「よかった〜」と言って帰って来られます。地域の中でいきいきと生活できるように今後もお手伝いをしていきたいと思ひます。



恒和荘での生活機能訓練

筋肉は年齢に関係なく動かすことで、一本一本の筋繊維が太くなっていくため、高齢者においても、筋力アップが可能であると言われていひます。しかし、なにもしなければ筋力は低下していく一方なので、可能であれば日常的に筋力を維持できるような体操などを、恒和荘でも行なうように心がけていひます。



午後からはフットマッサージ3機種、平行棒内歩行、廊下歩行、スロープ歩行、階段の昇降、膝の屈伸運動30回など、個別にメニューを決め実施していひます。天気が良いときには散歩も行ないました。「継続は力なり」をモットーに職員も利用者様と共に毎日頑張っています。とくにフットマッサージは好評です。



感染症対策のキホン

研修会より

「私の手は清潔です」と言えますか？

みなさんが日常的に行なっている手洗い・うがいが中心の研修でした。ブラックライトを使い、いつものような手洗いと手洗いの基本と同じように洗ったものを比べてみると手全体や指間はきれいになっていひましたが、爪の周りの汚れが落ちていないことが分かり、爪ブラシの必要性を強く感じました。また、拭き方もあり、こすって拭くのではなくたたいて水を拭き取らなくてはいけなひことも分かりました。早速実行していひます。（杉江）

住宅用火災警報器

岩手山も白い帽子を被るようになり、暖房器具のお世話になっひていることと思ひます。みなさんのお宅に設置していひる「住宅用火災警報器」は正常に機能していひますか。警報機が「ピッ」「ピッ」と短い音を出し、表示灯が点滅すると電池に寿命がきていひます。新しい器具に交換するか、新しい電池に交換してください。火災報知器の電池DC9Vは、500円前後でデンキ店、スーパーマーケット等で売ってありひます。正常に機能する「住宅火災報知器」で住民の生命、財産を守りましよう。

東新庄1丁目町内会便り
「このまち情報」より抜粋

◎俳句2題（利用者作品）
① ちぢかんで
それでも咲かんと冬のばら
② 冬夕焼け
ココダココダと鳴る電話
志保子

芸能にふれる10月・11月・12月お誕生会 ～お誕生者の皆様おめでとうございます。いつまでもお元気で～

誕生会では歌や踊りを披露して利用者とふれあい、感動を運んできてくれました。美しい歌声や踊りに利用者はうっとり。利用者も一緒に歌ったり踊ったりして楽しんでいました。また遊びにきてください！

10月29日



矢巾町更正保護女性の会様

11月19日



初代ミスさんさ佐々木秀子様
さんさ好み様

12月10日



盛岡チャペル様

笑顔いっぱいの文化祭

【テーマ】 創立25周年～皆様に感謝の気持ちを込めて～



木々も紅葉から落葉の季節となった11月1日。敬愛荘では文化祭が開催されました。利用者の作品を展示し日頃の様子を見ていただき、利用者や御家族へ日頃の感謝の気持ちを込めて盛大に行いました。いつもと違い、華やかで楽しげなお祭りの雰囲気で行われ、本格的な抹茶やケーキ、料理などに利用者の皆様も舌鼓をうち「おいしいねえ」と頬を緩ませ美味しく食べていました。

今年の文化祭を盛り上げてくれたのはボランティアサークル(広宮沢百姓踊り保存会)の皆様と、岩手県出身の演歌歌手(三浦わたる)様。保存会の皆様による踊りや歌声で盛り上がった利用者は笑顔に溢れ、「また来てくれるかなあ」、「来年も楽しみだあ」と目を輝かせていました。



感染対策

～感染予防の周知・徹底～

これからますます寒くなりインフルエンザやノロウイルス等感染症のニュースをよく耳にする季節となりました。当施設でも感染の予防と蔓延予防を行っています。その中心となるのが「感染対策委員会」です。委員会では感染予防の周知徹底と万が一感染者が発生した際の拡大予防に取り組んでいます。まず感染予防の基本である手洗いの周知を手洗い場に目に入るようにポスターを掲示し、部屋の出入りに手指消毒の設置を行い「1処置1手洗い」の啓発、徹底を図っています。また、隣接する南昌病院と協力し病院での取り組みを取り入れ、意見交換することで施設内だけでは気づき難い部分へも注意が向けられるようになっていきます。このような取り組みを元に感染予防に対するスタッフ1人1人の意識を高めて利用者もスタッフも安全に過ごせる環境作りを行っています。

11月1日に行われた文化祭においてバザーを開催しその売上金12,850円を8月の豪雨により土砂災害で被災された広島市へ全額寄付させていただきました。皆様のご協力に深く感謝いたします。

敬愛会デイサービスセンター

施設紹介

通所介護施設：食事・入浴などの介護サービスや機能訓練が日帰りで受けられる施設です。

笑顔いきいき趣味活動

敬愛会デイサービスセンターでは、日ごろから個人に合わせた趣味活動を行っています。将棋にテレビゲーム、ぬり絵や脳トレなど、その他にも様々ご用意しています。入浴の待ち時間などにやりたいものを選んでもらっています。得意な方には雑巾を縫っていただいたり、チラシ広告などでゴミ箱を作ってもらうこともあります。活動を通して自分の好きなものに取り組み、楽しい時間を過ごすことにより皆さんがよりよい時間を過ごせるよう取り組んでいます。



大変おいしくできました!!



今年も、毎年恒例干し柿作りを11月に行いました。皆さんで一生涯命皮をむき、吊るした柿を、約1カ月の間「美味しくなれ、美味しくなれ」と見守ってきました。12月に入り、頃合いになった柿をやっと食べることができました。今年は柔らかくとも甘い干し柿に仕上がりました。皆さんにも好評で大成功の干し柿作りとなりました。

リハビリテーション病院としてお墨付き =日本医療機能評価の認定病院更新 その2=

今回は、本審査までの取組み状況や理念達成に向けた組織運営、患者中心の医療提供、医療安全対策などの審査結果についてお知らせしました。今回は、院内感染対策やチーム医療の状況、良質な医療を構成する機能の審査結果等について前号から引き続きお知らせします。

今回の認定までの経緯と結果

⑥医療関連感染制御について

定期的に院内感染対策委員会が開催され、2人のICD、1人のICNがあり、ICTは毎週ラウンドし、院内の分離菌、抗菌薬の使用状況などを毎月集計し報告している。また、医療関連感染を制御するための活動では、個人防護用具の取扱や手指衛生については、概ね適切である。抗菌剤は、毎月の使用状況が集計され医局連絡会議と薬事委員会で報告している。

⑦地域への情報発信と連携について

ホームページや病院案内、広報誌を用いて病院機能やサービス、診療内容について広報している。また、診療実績については、近隣医療機関や福祉機関へ年報を配布して公開している。今後、患者等の一般向にも発信されると一層適切である。

地域医療連携室を設置し、紹介患者の受入転院などを適切に行っている。また、退院後のリハビリテーションの提供は法人内の診療所において対応できる体制を整備している。地域に向けた教育・啓蒙活動では、東日本大震災の被災地に赴き、運動指導を行ったり、沿岸部からの避難者における生活不活発病予防のための健康チェックや運動指導等への職員を派遣している。また、依頼を受けた講演・演題に沿って職員が出向き、出前講座を行っている。

⑧チーム医療による診療・ケアの実践について

リハビリテーション専門病院として活発なカンファレンスが実施されている。カンファレンスは、2種類あり、リハビリカンファレンスは回復期リハビリテーション病棟、一般病棟、療養病棟の全ての病棟で実施され、月4回、主治医・看護師・リハビリスタッフ、MSW・臨床心理士が参加し、主治医がスライドプロジェクターを用い情報の共有を図っている。

計画カンファレンスは主治医、リハビリスタッフ・看護師・MSW・臨床心理士・管理栄養が参加し、時には患者・家族をも参加して話が行われている。月に12回、1回につき7人程度のカンファレンスが実施されて、リハビリ計画や退院計画が立案されている。

入院決定については、医師・看護師・リハビリスタッフ・MSW等で構成された入院調整会議が毎日検討されている。病棟では入院直後の初期評価などを基に看護

計画やリハビリテーション総合実施計画が迅速に作成され、患者・家族に説明されている。

地域連携室では、生活機能向上のためのケアの充実や退院に向けた支援がなされている。更に入院患者の栄養管理や褥創の予防、疼痛への対応も適切に行われ、患者の療養上必要な各種カンファレンスが多職種により実施されており、チーム医療は適切に実施されている。

⑨良質な医療を構成する機能について

薬剤管理機能では、薬剤管理や薬剤情報の提供は概ね適正に行われている。ただし、処方監査・薬歴管理・注射薬調整・混合への関与等は今後の課題。臨床検査、画像診断機能は、概ね適正である。

栄養管理機能は、調理はオール電化で行なわれており、厨房内の温湿度管理は適切である。リハビリテーション機能は、リハビリテーションセンター長にリハビリテーション専門医を配置。また、多くのリハビリ療法士も配置されている。回復期病棟では、365日のリハビリテーションが提供され、カンファレンスも充実している。診療情報管理機能では、診療情報は一元的に管理され、診療記録の検索や取り違え防止対策は、概ね適切である。医療機器管理機能では、機器管理は各部署で行なっており、業者による点検は年1~2回実施され、点検状況は機器管理者に報告・確認がされている。修理機器は、各部署から機器管理者へ連絡し、適切に対応実施されている。洗浄・滅菌機能では、使用済み機器は、各部署の職員が中材において洗浄乾燥し滅菌準備をしている。オートクレーブ操作及び滅菌の保証、滅菌物品の保管・管理はボイラー技士が行なっている。輸血・血液管理機能は、薬剤部と検査機能が分担し、ガイドラインに沿って確実・安全に実施できる体制にある。

⑩組織・施設の管理について

財務・経営管理の会計処理は、病院会計準則に基づいて処理され、毎月の財務・経営状況は、運営会議、医局連絡会議で報告されている。会計監査は監査法人により適切に実施されている。医事業務、委託業務内容及び委託業者に対する各種教育の実施等も概ね適切に行われている。医療事故等への対応では、組織的な対応手順が整備されており、適切である。

①臨床研修、学生実習について

学生実習生については、実習生や実習内容の評価は適切に行われている。また、事故や職業感染などが発生

以上が今回報告書の概要です。今後検討すべき項目はありましたが、概ね適正に行われているとの認定でありました。今回の受審における審査項目は、全体で89項目。評価は、4段階で行なわれ「S」「A」「B」「C」で表記されます。当院の評価は、A評価（適切に行われている）が63項目、Bの評価（一定の水準に達している）が20項目とNA（評価無）6の計89項目での認定でした。出来ればS（秀でている）の評価がほしかったのですが残念です。しかしながら、C評価（一定の基準に達してるとはいえない）は一つもありませんでした。

この結果は、前段、病院における特色で述べたように今回の受審は、病院長のリーダーシップの下多くの職員が誇りを持って医療の質の向上のため、訪問受審等で問題となるような項目の改善に取り組んだ成果が実ったものと思っています。

来年は、引き続きリハビリテーション付加機能の受審が待っています。また、職員一同、認定更新のため一丸となって取り組んで、より良い医療を提供するため努力して参ります。

認定書

した場合の対応についても取り決めがなされており、適切である。



Topics

知って納得! ~介護の豆知識~ 【介護するための合理的なカラダの使い方 体幹の使い方】

かがんだ状態での動作は腰を痛めやすくなります。それは骨盤と腰骨の使い方が崩れてしまうためです。お腹から上半身を曲げてしまうと腰の一点に負担が集中してしまいます。今回は、動きやすい姿勢を作る方法をお教えます!!

動きにくい姿勢



腰から曲げると上半身と下半身が分断され腰一点に負担が集中する。

動きやすい姿勢



腰と骨盤をまっすぐにする

ヒザと股関節は軽く緩める 股関節から前傾する



ポイント

- ①肩の力を抜いて、ヒザと股関節は軽く緩めながら骨盤と腰骨をまっすぐに保つ。
 - ②股関節から前傾する。
- ※分かりにくい人は腹に手をあて、腹が曲がらないように意識して上半身を前傾しましょう。

